

平成29年度 第1回運営推進会議 議事録

開催日時：平成29年8月21日（水）14時00分～15時00分

開催場所：デイサービスすぱいす 2階相談室

1. 開催挨拶 管理者安藤

2. 出席者紹介

- ・我孫子市健康福祉部 高齢者支援課 野口 妃沙子様
- ・湖北台保育園 副園長 田中 成津子様
- ・地域住民（当事業所同自治会）副会長 新井 吉博様
- 湖北台5丁目ボランティアの会 会長 岡田 千代子様
- ・利用者ご家族様 代表 T.Y 様
- ・ご利用者様 代表 I.Y 様
- ・デイサービスすぱいす管理者兼相談員 安藤 健太郎

計7名

3. 地域密着型通所介護運営推進会議について 管理者安藤

小規模通所介護事業所（利用定員19人未満）は、少人数で生活圏域に密着したサービスであることを踏まえ、地域との連携や運営の透明性の確保、また、市町村が地域包括ケアシステムの構築を図る観点から整合性のあるサービス基盤を行う必要がある為、平成28年4月1日から「地域密着型通所介護」として地域密着型サービスに移行されることとなりました。

地域密着型通所介護事業においては、半年に1回の運営推進会議を開催することが義務付けられています。

当事業所におきましても、定期的に開催するこの会議を通じて、より多くの地域の方に知っていただき、地域との更なる連携を図り、地域に開かれたサービスとなっていくように努めて参ります。

地域包括ケアシステムについても説明させていただく。

4. 事業の目的について

管理者安藤

- ・当事業所の運営規定等の資料を交えて説明する。

5. デイサービスすぱいすについて 管理者安藤

- ・基本理念について説明する。
- ・当事業所の想い（私たちの想い）について説明する。
「すぱいす」では対話を大切にしております。物作りのような目に見える結果としては少ないが、対話を多くしていくことで自身の存在意義を感じ、生きることへの意欲を持って頂けるように働きかけております。

6. 活動状況について 管理者安藤

- ・登録者状況（平成29年8月20日時点）

女性 26名 男性10名 合計36名

要支援1：1名

要支援2：2名

要介護1：17名

要介護2：7名

要介護3：5名

要介護4：2名

要介護5：2名

合計：36名

今年度より、我孫子市立湖北台保育園の園児との交流会を定期的に行うこととなりました。定期交流会を行うまでの経緯について、副園長の田中様よりご説明をいただく。

交流会での感想として「交流会を行うことで、お年寄りは子供から元気をもらったり、子供たちは、帰宅後に親御さんに交流会の話をされるなどお互いに良いことだと思います。型にはまっていない家庭的な雰囲気の施設なので、家に孫が来たような感じで自然な形での交流ができていて、今後も継続できたらと思います」

- ・4月：お花見 身体面、体調面の考慮とご利用者様から多数の要望によりお花見ドライブとする。

外食会 岡発戸の食事処「花悠房」にて食事をする。

誕生会 個別の誕生会を行う。

- ・5月：保育園交流会（当事業所にて園児との交流）

フラダンス鑑賞会（フラダンスの会による発表）

誕生会 個別の誕生会を行う。

- ・6月：三線鑑賞会（三線演奏グループ「なんくるないさ」による演奏）
誕生会 個別の誕生会を行う。
- ・7月：保育園交流会
七夕会 七夕飾りや短冊に思いを記していただく。
ハーモニカ鑑賞会（ハーモニカ演奏グループによる演奏）
誕生会 個別の誕生会を行う。
- ・8月 夏祭り（踊り鑑賞会、盆踊り）
誕生会 個別の誕生会を行う

以下、直近の予定について説明

- ・9月 敬老会 予定
防災訓練 予定
誕生会 予定

7. 事故、ひやり・はっと報告（平成29年3月～平成29年8月20日）

事故報告 0件

ひやり・はっと報告 7件

- ・A様（精神疾患）来所時に昼食後の薬をお預かり、保管する際、ご家族（ご主人様）の薬を持参されていた（個包装で似ている）
- ・A様（精神疾患）来所時に昼食後に点眼される点眼薬をお預かり、保管する際、ご家族（ご主人様）の点眼薬を持参されていた。
- ・M様（歩行介助を必要とされる）帰宅の準備中にお一人で歩こうとされ立ち上がり、ふらつかれていた。（その他、M様同様のひやり・はっと報告4回 それぞれ時間帯は違う）M様 計5回

7. 地域との連携

- ・我孫子市立湖北台保育園様との定期交流会
- ・湖北台5丁目ボランティアの会の定例会に出席させていただく。
- ・ほくほくカフェ（認知症カフェ）当事業所にて開催予定9月3日（日）
(我孫子市湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室主催)

8. サービスの質の確保

社内（外）研修の実施（平成29年3月～平成29年8月）

- ・業務の見直し、ケース会議（3月）
- ・職員倫理と介護予防サービスについて（4月）
- ・苦情対応によるリスクマネージメント（5月）
- ・食中毒予防と対応について（6月）
- ・感染症について 社外研修（6月）
- ・認知症の利用者様の対応について（7月）
- ・接遇について、ケース会議（8月）

9. 事業所による「抱え込み」の防止

当事業所で初めてサービス利用を開始された方で、後に他サービスと組み合わせて利用してくださっている方が5名いらっしゃいます。

10. その他

苦情件数 0件（平成29年3月～8月現在）

年間休日の変更（昨年度まで、日曜日、12月31日～1月3日）

今年度より、日曜日、8月第2週土曜日～第3週月曜日、

12月30日～1月3日がお休みとなります。

（その他、月～土曜日は祝日含め営業しております）

9. 出席者からの活動状況の評価、要望、助言、質疑応答について

T様：抱え込みとは？

安藤：当事業所だけでご利用者様を抱え込まないということです
他サービスと組み合わせていくことも大切だと思います。

野口様：居宅介護支援事業所と併設しているデイサービスの場合、ケアマネジャーが同じ法人のデイサービスばかりに利用者を紹介してしまうことがある。本来は、色々なサービス事業所を紹介して決めていただきなければいけない。本人が選択できるような提案をしなければならない。また、デイサービスの職員は利用者さんとかかわっている時間が、ケアマネジャーさんより長いので、ご自宅での生活も含めて、利用者さんのより良いサービスの提案（ホームヘルパーなど）をケアマネジャーさんに行くことも大切だと思う。

安藤：前回の運営推進会議でボランティアの会について教えていただき、その後、5丁目ボランティアの会の会長でいらっしゃる岡田様を紹介していただき定例会にも出席させていただきました。

岡田様：定例会に出席してくださっていますが、今後も色々な行事やお話し合いにも参加してください。

I様：私は東京から疎開ってきて、我孫子に移り住んできて農家の仕事をしてきましたけど、今は楽しくデイサービスに来ています。

安藤：I様は何かご要望はないですか？

T様：楽しいので、もう一日増やしたいくらいです。

安藤：T様は何かご要望はないでしょうか？

T様：特にないですね。全面的に信頼しています。

新井様：私たちぐらいの世代は、このような施設を知らない人が多いと思います。ここでの話を聞いて感じたことは、どうすればこのような施設があることを地域の人々に伝えていけるか。考えていく必要があると思います。

安藤：私も地域の方に開かれた施設にしたいと考えておりますが、施設の宣伝とだけ受け止められてしまうことにも抵抗があり地域へ出していくことに躊躇してしまう部分もあります。

当事業所だけでなく、介護保険のサービスを利用することでより良い生活につなげていけるということを、今後も発信できるようにしたいです。

岡田様：他県の親が遊びに来た時に、ちょっと預けることはできないのですか？

安藤：当方は、地域密着型通所介護なので、原則は我孫子市内にお住まいの方に限られてしまいます。

野口様：地域密着型通所介護以外（定員19名以上）のデイサービスであれば可能ではあるが、事業所の枠組みや、各自治体の了承を得て行う部分もあるので、そのことも含めてケアマネジャーさんに相談してみてはいかがでしょうか。

先ほど、新井さんがおしゃっていた地域との連携ですが、この運営推進会議自体が地域との連携をするためのものでもあるので、このような会を通じて自治会でも今後どうすれば連携をとれるか考えて頂ければと思います。

新井様：今後は介護保険のサービスについて地域の方々も勉強できる

ような機会をつくっていきたいと思いますので、その時は安藤さんも協力をお願いします。

その他、質問等がない為、活動状況の評価、要望、助言、質疑応答を終了とする。

10. 閉会挨拶 管理者安藤